



丹波の森

申込
期間

令和4年

6/1

7/23

令和4年度

講座

「丹波学」

丹波につながる歴史再発見！

悠遠なる丹波史と伝統文化から学ぶ丹波の魅力

●お申し込み方法

下記、申込用紙に必要事項を記入の上、ご持参いただくか、郵送またはファックスでお申し込みください。電話での受付はしておりません。また、定員を超えた場合は申込期間内であっても受付を終了させていただく場合があります。

※申込から2週間程度で受講決定通知と振込用紙を郵送します。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止等のため、中止または変更になる場合があります。

●問い合わせ先

丹波の森公苑 文化振興部内 講座「丹波学」係

〒六六九-1330 丹波市柏原町柏原五六〇〇

電話番号・・・〇七九五-七二一五-一七〇

ファクシミリ・・・〇七九五-七二一五-一六四

●会場 丹波の森公苑多目的ルーム

●定員 一〇〇名

●受講料 五〇〇〇円

主催：(公財)兵庫丹波の森協会 丹波の森公苑

令和4年度 講座「丹波学」受講申込書

令和4年 月 日

ふりがな 氏 名			男・女	歳
住 所	〒			
電話番号	() -	FAX	() -	

※ご記入いただいた個人情報は厳重に管理し、当事業のみで使用します。

令和4年度 講座「丹波学」 講義日程・講師紹介

第1回 8/27(土) 13:30～15:00	「春日局と丹波」 市立枚方宿鍵屋資料館 学芸員 片山 正彦 氏 大阪府生まれ。佛教大学大学院文学研究科日本史学専攻博士後期課程修了、博士(文学)。専門は、日本近世初期政治史、近世地域史(京阪神地域)。著書に、『豊臣政権の東国政策と徳川氏』(思文閣出版、2017年)、『近世地域史文化史の研究』(共著・名著出版、2018年)、『丹波八木町の歴史 近世編』(共著・南丹市教育委員会、2013年)など。
第2回 9/17(土) 13:30～15:00	「承久の乱と丹波」 花園大学 准教授 生駒 孝臣 氏 三重県生まれ。大阪教育大学教育学部卒業。名古屋大学大学院文学研究科博士前期課程修了。関西学院大学大学院文学研究科博士課程後期課程単位取得退学。博士(歴史学)。専門は日本中世史(中世武士団研究、中世畿内政治史)。著書は『中世の畿内武士団と公武政権』(戎光祥出版)、『楠木正成・正行』(戎光祥出版)、『南北朝武将列伝 南朝編』(共編著、戎光祥出版)、『楠木正行・正儀』(ミネルヴァ書房)など。
第3回 10/1(土) 13:30～15:00	「丹波の土豪・酒井氏の歴史」 (株)歴史と文化の研究所 代表取締役 渡邊 大門 氏 神奈川県生まれ。関西学院大学文学部卒業。佛教大学大学院文学研究科博士後期課程修了。博士(文学)。専門は、日本中近世政治史。著書に、『戦国期赤松氏の研究』(岩田書院)、『戦国期浦上氏・宇喜多氏と地域権力』(岩田書院)、『赤松氏五代』(ミネルヴァ書房)、『戦国・織豊期 赤松氏の権力構造』(岩田書院)、『論集 赤松氏・宇喜多氏の研究』(編著・歴史と文化の研究所)など多数。
第4回 11/12(土) 13:30～15:00	「幕末政治史と丹波諸侯 ー 京都火消・禁裏守衛・攘夷 ー」 京都女子大学 非常勤講師 中村 武生 氏 島根県生まれ。大阪府に育つ。佛教大学大学院文学研究科日本史学専攻博士前期課程修了。専門は歴史地理史学(幕末政治史、都市史〈惣構論〉、史蹟論、平安京・京都史)。著書に『御土居堀ものがたり』(京都新聞出版センター)、『京都の江戸時代をあるくー秀吉の城から龍馬の寺田屋伝説まで』(文理閣)、『中村武生とあるく洛中洛外』(京都新聞出版センター)、『池田屋事件の研究』(講談社)など。NPO法人京都歴史地理同考会を主宰し、京都市内などに史蹟碑の建立を進めている。現在約20基に関わった。
第5回 12/10(土) 13:30～15:00	「丹波猿楽とその時代」 宇治市源氏物語ミュージアム 館長 家塚 智子 氏 千葉県生まれ。立命館大学文学部卒業。奈良女子大学大学院人間文化研究科博士後期課程修了、博士(文学)。専門は日本中世史、日本文化史。単著『はじめての源氏物語 宇治へようこそ』(一般財団法人宇治市文化財愛護協会、2015年)、共著『有職故実の世界』(別冊太陽 平凡社、2021年)など。